

お詫びと訂正

『2021年度 岩手医科大学 医学部』において解答の訂正がございます。深くお詫び申し上げますとともに、下記のとおり、訂正させていただきます。

●訂正内容：令和2年度 英語（86p）

○第6問 35

〔解答〕

誤 ③ → 正 ⑤

〔解答のプロセス〕（3を以下のように訂正）

3. Lack of child care facilities makes it hard to reconcile work and family life.

（育児施設の不足が仕事と家庭生活の両立を難しくする。）

●訂正内容：令和2年度 生物（95p）

○第1問 問5

〔解答〕

誤 ② → 正 ①

〔解答のプロセス〕（問5を以下のように訂正）

問5 興奮部と静止部の間で活動電流が流れることで生じる電位差が閾値以上となる範囲において活動電位が発生する。従って、 α は $0 \sim x$ の範囲、 β は $0 \sim y$ の範囲となる。また、伝導速度が大きい軸索は、刺激部位から離れた位置でも電位変化をより大きく生じていると考えられるので、 γ は曲線うとなる。